

あらぶんちよ散歩

vol.065

かんだあわじちよういちにちようめ

神田淡路町一・二丁目

淡路小学校跡地に誕生した、4/12にオープンしたばかりの大型複合施設「WATERRAS (ワテラス)」で話題のエリア。界わいには四代続く老舗も多く、新旧の魅力が詰まった街になりそうです。5月には4年ぶりに神田祭も開催されます!

千代田区

ワテラスの敷地内に立つ、大きな翼のオブジェ



アップダウンもあるが、ワテラスの庭園など緑も多く気持ちよく散歩できる



5月の神田の風物詩、神田祭が4年ぶりに復活!

2年に一度、盛大に大祭が行われる神田祭が4年ぶりに斎行される。朝8時に鳳輦・神輿行列が出発し、途中で加わる「附祭(つけまつり)」をあわせて約300m、約2,000名もの祭礼行列が、神田、日本橋、大手・丸の内、秋葉原を一日がかりで巡行する「神幸祭」や、約100基の町神輿が神田明神へ向かう「神輿宮入」など、日本三大祭のひとつであり、徳川将軍上覧の「天下祭り」といわれる祭りだけに、見どころもたくさん。特に「附祭」は一番人気の出し物で、「大鯰と要石」や「大江山凱陣」などの曳き物と呼ばれる巨大なハリボテ人形あり、相馬野馬追騎馬武者行列あり、サンパチムありと何でもあり! 今年は新たに「花咲か爺さん」の曳き物も登場する。巡行MAP片手に神田明神まで一緒に練り歩いてみては?

スケジュール

神田祭

- 5/9(木) 鳳輦・神輿遷座祭
- 5/10(金) 氏子町会神輿神霊入れ
- 5/11(土) 神幸祭 (神田、日本橋、大手・丸の内、秋葉原巡行)
- 5/12(日) 神輿宮入 (100基の氏子町会神輿が宮入参拝)
- 5/14(火) 献茶式、明神能・幽玄の花 (金剛流新能、有料)
- 5/15(水) 例大祭

神田明神 <http://www.kandamyoujin.or.jp/>

一般社団法人 淡路エリアマネジメント理事 堀田康彦さん(かんだやぶそば当主)

人情・情報を引き継いで 大きなコミュニティを育む施設に

「高度成長やバブルを通して都心に人が住めなくなりました。親子三代で通った淡路小学校も児童の人数が減って統廃合でなくなり、その跡地が「淡路広場」として街づくりの種地になりました。私どもが神田で133年も蕎麦屋を続けていられたのは、ここで子供を育ててくれたからです。生活できる、子育てできる街にするにはどうしたらいいのか、協議会を作って議論してきた結果、「ワテラス」が誕生しました。最大の特長は、学生を居住させてポイント制で地域活動に参加させる仕掛けでしょうか。住宅を確保して新住民を迎えつつ、人情・情報を引き継いで大きなコミュニティを育む——建物を作っておしまいの再開発ではなく、そこから新しい地域文化が生まれる街に、と考えています。地域交流を促進・支援するためにエリアマネジメント法人を発足しました。ホールやカフェ、ライブラリーを設けたコミュニティ施設もあり、オープンから神田祭まで、1週間ごとにイベントを行っています。どうぞお気軽に遊びに来てください」



↑昭和2年当時の淡路小学校



公園のほか、ホールやライブラリー、カフェなども

1 松栄亭

夏目漱石のために作った名物・洋風かきあげ
明治40年創業の洋食屋さん。「曾祖父が夏目漱石のために「変わった物」というリクエストに応じて作ったもの」という洋風かきあげは、オムレツのようなかきあげのような唯一無二の味わい。お昼は日替わりランチもあり。



♪ 洋風かきあげ950円

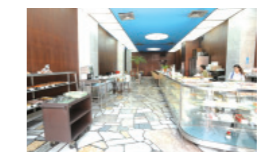


→四代目の堀口義さん

住所:千代田区神田淡路町2-8
TEL.03-3251-5511
営業時間:11:00~14:15L / 17:00~19:30L
定休日:日・祝

2 近江屋洋菓子店

古き良き丁寧な作りの洋菓子にファンも多い
明治17年創業。「リーズナブルだけれどもチープでないものを」と、最高の素材を惜しげなく使った、まっすぐなおいしさにリピーターが絶えない。たっぴりのりんごと、生地にはカルピスバターを使用したこだわりのアップルパイをぜひ。イートインもできる。



♪ 人気の苺サンドショート 630円、アップルパイ(カット) 336円、(ホール)2,898円
→毎朝、自ら新鮮なフルーツを市場で仕入れている四代目の吉田太郎さん



住所:千代田区神田淡路町2-4
TEL.03-3251-1088
営業時間:9:00~19:00(日祝10:00~17:30)
定休日:無休

3 神田志乃多寿司本店

稲荷寿司と海苔巻きへのテイクアウト専門店
酢バスがおいしいアクセントになった「志乃多寿司」と呼ばれる稲荷寿司と、しっとりとした甘さのかんぴょう巻き一筋100余年の老舗。大阪寿司も扱っており、地下にはイートインスペースも。洋画家・鈴木信太郎氏による包装紙もかわいい。



→住所も淡路町でなく神田区佐柄木町の明治35年、開業のころ



住所:千代田区神田淡路町2-2
TEL.03-3255-2525
営業時間:7:30~18:00(B1Fは11:00~14:30L)
定休日:火

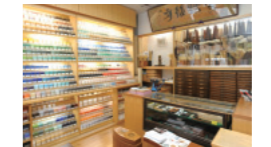
↑太巻き結合せ840円。フタには谷内六郎氏のイラストが! なんとお賢いコラボ

4 得應軒本店

横山大観も愛用した老舗の日本画材店
明治時代から続く、岩絵の具などを扱う画材店。初代・2代目は筆師であり、横山大観をはじめとした日本画家がこぞ愛用したとか。「どんな筆でも試し書きできるのがうちの特長」と宮内さん。さまざまな動物の毛によるコシの強さなどを実感できる。



↑天然石を砕いて作る岩絵の具は15gごとに販売。筆は600円ぐらいからある



→「日本画を描かばい人も気軽にどうぞ」と四代目の宮内隆弘さん

住所:千代田区神田淡路町2-1
TEL.03-3251-0303
営業時間:9:30~18:30(土~18:00)
定休日:日・祝